

**豊明市教育委員会 会議録**  
**「定例会 令和6年1月」**

令和6年1月17日（水）午前10時00分豊明市教育委員会1月定例会は、豊明市役所新館3階教育委員会室に招集された。

1 応招委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	藤 井 和 久	教育長職務代理者	：	長 山 加 代 子
委 員	：	青 木 睦	委 員	：	井 戸 貴 子
委 員	：	南 寿 樹			

2 不応招委員は、次のとおりである。

な し

3 出席委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	藤 井 和 久	教育長職務代理者	：	長 山 加 代 子
委 員	：	青 木 睦	委 員	：	井 戸 貴 子
委 員	：	南 寿 樹			

4 欠席委員は次のとおりである。

な し

5 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	：	高 木 安 司	学 校 支 援 室 長	：	山 田 秋 男
学 校 教 育 課 長	：	秋 永 亘 正	生 涯 学 習 課 長	：	相 羽 敏 明
図 書 館 長	：	水 野 美 樹			

6 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（係長）石 川 拓 也、事務局（主事補）加 藤 瑠 那 子

本会事件は、次のとおりである。

議案

（1）令和6年度儀式等について

報告

- （1）令和5年豊明市議会12月定例会月議会一般質問について
- （2）豊明市教育委員会要綱の制定、一部改正及び廃止について
- （3）令和6年豊明市二十歳の会開催状況について
- （4）豊明市スポーツ賞表彰授与式について
- （5）市長と話そう会（3中学校）の懇談結果について
- （6）教育委員会後援申請について
- （7）教育委員会への寄附・寄贈について

その他

(1) 令和5年度小中学校卒業式の日程について

開会宣言 午前10時00分、1月定例教育委員会の開催を宣言。

会議録承認 12月定例会(12月21日分)の会議録について、承認する旨確認。

教育長 それでは、私の方から先回の定例教育委員会後の報告をさせていただきます。

年が改まって早くも半月以上が経過しました。今年は1月1日、2日と大きな災害や事故が発生し、能登半島の地域では、いまだ多くの方が孤立していたり、避難所生活を強いられたりしています。本市での被害はありませんでしたが、豊明市を管轄する尾三消防本部からは、1月1日発生直後から緊急救助隊が現地で活動を続けており、今も第4次隊が派遣されています。市の職員も今週頭から下水道課の職員を派遣する予定でしたが、現地での工事発注の段取りがつかず、待機の状態となっています。市の防災備品についても、安城市にある取りまとめセンターを通じて、被災地に送っています。

1月10日に行われた定例校長会議でも、校長先生に日頃の備えの重要性と、万一発生した際に何をすればいいのか、学校内、学校外、深夜なども含めて、今回の災害をきっかけとしてそれぞれが考えてもらうように指示しました。

12月21日に、市内小中学校への図書の寄贈がありました。寄付をしたのは市内在住で元特別支援学校教員の方です。素敵な大人図鑑VOL3とタイトルが付けられた本は、様々な職業に従事する42人の大人たちと、その職業を紹介する本です。オールカラー版で、あまり聞いたことのない新しい職業や、人に知られていない職業を紹介しています。ヤフーの新書ランキングでも1位になっており、学校の図書室でも多くの子供たちに、興味をもって読んでもらえると思います。

次に12月22日に、豊明市役所で、愛知県の飯田教育長を迎えて、今年度のお礼と来年度へ向けて、市教育委員会として教育全般についての面談をしました。当初はこちらから県庁を訪問する予定でしたが、急遽、東三河での予定が入ったため、わざわざ豊明市役所へお立ち寄りいただいたものです。当日は坂田県議会議員にも同席をお願いし、外国にルーツを持つ児童の多い豊明市の特殊事情や、支援が必要な児童生徒の増加とその方々への対応策など、様々な面で意見を交わして有意義な時間となりました。

1月7日に二十歳の会が文化会館大ホールで開催されました。今年も3中学校毎の分散開催となり、特に何事もなく円滑に式を終えることができました。式典終了後には実行委員会企画で、各校の恩師に登場してもらい旧交を温める場面も用意されており、恩師が交代で登場するたびに歓声が飛び交うなど大いに盛り上がっていました。

次に1月11日に、愛日事務協議会が尾張旭市で開催され、長山委員とともに出席してきました。令和5年の管理職任用試験の結果については、校長試験は253名が受験、合格者は192名で合格率は75.9%、愛日地区での合格率は83%でした。教頭試験は、323名が受験、240人が合格し、合格率は74.3%、愛日地区では84.3%の合格率となっています。教頭試験の最年少合格者は41歳でした。全般的に愛日地区の合格率は高かったです。新任職員の配置状況は、愛日地区で202名、小学校136名、中学校62名、養護教諭4名となっています。

続きまして1月12日には、スポーツ賞表彰審査委員会が開催され、個人・団体に優秀な成績を修められた方として、15人の選手の皆さんと1団体をスポーツ賞受賞者に選出しました。来月16日に表彰式を行う予定です。

私からの報告は以上です。今の報告につきまして、ご意見・ご質問等がありますか。

委員 豊明市の小中学校の耐震の対策状況、非常食の管理状況について報告をお願いします。

教育長 耐震については、公共施設はすべて行っています。校舎などが崩れてしまうことはよほど

ないと思います。非常食については、あまりありません。水は1～2日分で、多くの市民が一度に殺到しても供給できません。震度5以上になると市の職員が自動的に集まることになっています。それぞれの職員は市民に提供する水を使うのではなく、自分で確保することになっています。2～3日は水がないことが想定されます。今回の能登の地震は、阪神淡路大震災などよりもマグニチュードが大きかったため、揺れが大きく、被害が大きかったそうです。今回の地震の反省点としては、市の職員の多くが災害に遭ってしまい、駆け付けてこられなかったこと、HPも更新できないほど混乱していたことです。豊明市も、想定では、職員が集まることになっていますが、家族を救助しなければいけなかったりし、想定外で、人が集まらなかった場合に、どのように少ない人数で、災害対策本部を運営していくかを検討する必要があると市長が言っていました。委員の皆様も含めて、行政が動くと言っても、2～3日は、相当不自由な生活を強いられる可能性があるのです、最低限の水やトイレの関係を備えておいていただければと思います。

教育長 その他に質問等よろしいでしょうか。(なし)

### 議事の経過

教育長 それでは議事に入ります。議案(1)「令和6年度儀式等について」説明をお願いします。

学校教育課長(資料第1号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、議案(1)「令和6年度儀式等について」承認される方は、挙手をお願いします。(全員挙手) それでは、承認といたします。議案は以上となりますので、報告に移ります。報告(1)「令和5年豊明市議会12月定例会議会一般質問について」説明をお願いします。

教育部長(資料第2号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 豊明市女性の会とは何ですか。

教育部長 いわゆる婦人の会で、災害の時に炊き出しを手伝ったり、今はやっていませんが、成人式の時に、トイレで着物が乱れてしまった方に着付けを行ったりしていました。

教育長 盆踊りの時に、踊り手として参加したりしています。豊明市連合婦人会というものの名前が変わり、豊明市女性の会になりました。

委員 以前は、子ども会と同じで、地域にそれぞれの婦人会がありました。女性の会は地域ごとではありません。

教育長 高齢化が非常に進んでいますので、存続が危うい状況です。

委員 ボランティアで手伝う組織ということですね。

委員 以前、堆肥センターで残飯を堆肥化するというのがありましたが、なくなってしまったのですか。

教育部長 はい。

委員 どういう経緯でなくなったのですか。

教育部長 理念は良かったのですが、コストが合わなかったためです。市が大きな借金を抱えていくことになってしまい、廃止ということになりました。

委員 今の収集運搬先はどこですか。

教育部長 プラントに持っていき、そこで再処理をします。行っていることは同じで、生ごみをガス化してエネルギーに変えています。

教育長 大府市にプラントがあります。

委員 上手く循環できると良いと思います。

委員 給食は、毎日残飯が多いのか、人気によって変わってくるのですか。

教育部長 人気によって変わってきます。食べにくいものや、昔ながらの料理や、サラダなどは人気がなく、残ってしまいます。

委員 様々なことを考えて作られていると思いますが、子どもたちは、我々の世代と変わってきています。子どもたちが残さないようなメニューを考えながら、食べやすいものに変えていかなければ、残飯がますます増えてしまうと思います。工夫は難しいとは思いますが、より工夫してもらえると良いと思います。

委員 学校の中でも工夫をされています。子どもたちが委員会で、残飯をゼロにしましょうと活動していたり、学年によっては、クラスをまたいで、余っている牛乳を配ったりしています。

教育部長 先生の指導によって変わってきます。

委員 先生によっては、食べられる子を把握していて、積極的に回っています。子どもが配膳しているので、残っている分を先生がどのように補うかという、技量的なものもあると思います。牛乳については、紙パックは瓶よりも中が見えないためか、子どもがよく飲むようになったそうです。学校が、牛乳の残飯が減ったと言っていました。

委員 医療的ケアが必要な子どもは、今はいないとのことでしたが、就学指導委員会のようなもので、医療的ケアが必要だけれど、普通校で教育を受けたいという申し出があるかもしれません。受け入れ体制を作るのは良いと思います。ガイドラインはできていますか。

教育部長 今作成しているところです。

委員 医療的ケアを学校で行う、一番初めの担当をしていましたが、申請が細かく大変でした。医療的ケアを必要とする子どもは障がい重い子も多いですが、中には大学まで行ける子がいるので、体制があれば普通校に通いたいというニーズはあると思います。是非進めていただきたいと思います。

教育長 その他に質問等よろしいでしょうか。(なし)では、続きまして報告(2)「豊明市教育委員会要綱の制定、一部改正及び廃止について」説明をお願いします。

学校教育課長（資料第3号に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 地域塾について、場所代や報酬は自由で良いのですか。

学校教育課長 地域のやり方に任せます。

委員 病児・肢体不自由児の修学旅行時の差額についてありましたが、人工呼吸器をつけている子が、旅行先の業者に酸素ボンベを用意してもらう場合も差額が出るのですか。

学校教育課長 そうです。バスに限定しているわけではありません。

教育長 どよう塾については、教員のOBと教員を目指す学生が中心になって行っていました。教員のOBが定年延長の関係で、働いていて、学生も集まりにくくなっているため、教える人手が極端に減ってしまいました。今年は特に、非常に厳しい状況で運営しています。これ以上継続できないということで、廃止する方向に話を進めましたが、市長に話をした時に、いくつかの地域から、地域で夏休みの宿題を教えたいという声があったので、このような形になりました。実際どれくらい応募があるか分かりませんが、進めていきたいと思えます。

委員 5万円というのは、最大5万円なのか、一律で5万円なのですか。

学校教育課長 基本的には、一括交付金のため、一律5万円とします。実績報告は出してもらいますが、使い切れない分は、一括交付金の一般財源事業へ充当が可能です。運営の仕方など、細かいところまでは、決まっていないので、地域の方との話の中で、決めていこうと思えます。

委員 地域でばらばらとなると、今までは、塾に通えない子だけでしたが、宿題を見てくれるというスタンスに変わるので、例えば1回500円とかにすると、運営収入もできます。そうすると、地域の様々な考え方が出てきて、質問もたくさん出てきてしまうと思えます。話し合いで決めていくとなると、条件を決めておく必要があると思えます。

学校教育課長 手続きについては簡素化し、運営方法は、地域の裁量に任せたいと思っています。一定のルールについては、区長会で説明しなければいけないので、詰めていきたいと思えます。

委員 区によって、条件が違ってくると難しいと思えます。

教育部長 しかし、縛ってしまうと手をあげられなくなってしまいます。参加料は高額ではなく、地域にあった形でやってもらうしかありません。

委員 5万円や10万円では、足りないと思えますが、まずは始めてみたら良いと思えます。

委員 区が塾などに委託しても良いということですか。

教育部長 基準に合えば、問題ありません。区の補助金ですので、区が間に入ってもらうことになります。

委員 入学祝金は、こういったものに対して5万円を支給するのですか。

学校教育課長 学校生活に必要なものに限定しているわけではないので、学習机などでも良いです。また、物だけではなくサービスでも良いです。例えば、ラーケーションが始まりましたが、水族館に親子で行った場合、それも対象になります。なので、幅広く子どものために使っていただければと思います。

委員 その都度交付申請書を出すのですか。

学校教育課長 領収書を5万円以上になるようにまとめていただき、申請は1回でしていただく形になります。

教育長 基本は、パチンコやお酒などの子どもに関係のないもの以外であれば対象になります。

委員 手続きが面倒でなければ、全員がもらえるということですね。

学校教育課長 手続きの方法としては、紙申請と電子申請を考えています。就学通知と合わせて、保護者にお伝えします。

教育長 始めるきっかけとなったのは、まごころサポート便という、市が貧困家庭やシングルマザーに定期的に食品を配付する事業の際に、意見交換をしたところ、小学校入学の時にお金が必要という声が多かったためです。その他に質問等よろしいでしょうか。(なし)では、続きまして報告(3)「令和6年豊明市二十歳の会開催状況について」説明をお願いします。

生涯学習課長(資料第4号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 参加した人に聞くと、この形はとても好評で、このままの形を続けてあげてほしいとのことでした。

教育長 基本的には、実行委員会の意向に沿う形になりますが、今の形で良いのではないかと思います。今は保護者を入れていませんが、大ホールには、十分に入れるので、来年は検討しても良いかと思います。

委員 場所は文化会館ですか。

教育長 そうです。その他に質問等よろしいでしょうか。(なし)では、続きまして報告(4)「豊明市スポーツ賞表彰授与式について」説明をお願いします。

生涯学習課長(資料第5号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、続きまして報告(5)「市長と話そう会(3中学校)の懇談結果について」説明をお願いします。

教育部長(資料第6号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 豊明中学校で、バスケットボールをやりたかったとありますが、こういった声は多くあるのでしょうか。

教育部長 豊明中学校は、急に休部したところが多く、小学校の時に入りたかったけれど、入学したらなくなっていて不満という声を聞いています。我々は土日の部活動を楽しんでもらえるような地域移行を考えていますが、子どもたちは、専門的なプロに近い人が外部指導員として来て、部活動を指導するというイメージを持っています。子どもと我々の考える部活動の地域移行が違うので、どこかで指し示していかなければいけないと考えています。平日の部活動についても、先生たちの負担を減らすために、今後外部指導員にも入っていただこうかと考えています。

委員 今の話を聞いていても、保護者には伝わっていないのかと思います。

委員 子どもたちの気持ちをどのように考えているのかを知りたいです。大人の都合で、廃部になっていますが、国際的な人権の思想から考えると、逆流だと思います。

委員 先ほどの話にもあった通り、ずれが起きています。先生たちの働き方改革によって、平日の部活動も数十分で、回数も減らされていて、大会1週間前に1回練習する程度になっています。そのような中で、保護者も子どもも、移行すれば元通りに長い時間練習し、土日に部活動ができると誤解してしまっています。各中学校の部活動が県大会に進んでいきますが、大会が、まだなくなっていないため、イメージができていません。大会がなくなることを知ったら、理解できるかもしれませんが、今の段階では、大会があるなら、中学校単位で大会に出て戦いたいから部活動をやりたいと思っています。しかし、何年後かには大会はなくなるかもしれないと、そこで部活動全体の在り方が変わると思います。子どもたちは、大会がいずれなくなることを分かっているため、大会に向けて、部活動をやりたいと思っていますが、なくなるとも言い切れないため、溝は埋まりにくいと思います。

委員 現状は、練習なしで大会に臨んでいるということですね。

委員 そのため、子どもたちは早く移行して練習をしたいと考えています。

教育長 1月の定例校長会議に、「小学校の部活動の今後について」を、全保護者に配る予定で出しました。それを見ると分かりますが、バスケットボールやサッカーなどの球技主体ではなく、身体を動かす様々な活動をやるという部活動に変わっていくことと、小学校の大会については、今後縮小していくことが書いてあります。次回の定例教育委員会でお見せします。保護者には、2月の下旬に配る予定です。中学校については、柔道やソフトテニスや野球の地域移行が少しずつできてきて、周りが動き始めると理解できるようになるかもしれません。市長と話そう会の時にも、働き方改革について、教員はブラックだというイメージで、なり手が減り、日本の教育がダメになってしまうため、教員になってくれる人を増やさなければいけないといことを力説していました。そのためには、学校の先生だけ土日でも出勤するのではなく、週休2日にすることと、やりたいのは分かるが、先生たちも普通の人間で、家庭もあるということを説明していました。

委員 部活動をやりたいと言っている先生たちを、どのようにフォローしていくかを早めに決めていくべきだと思います。

教育長 やりたい人には、やってもらうつもりですが、いずれ転校していってしまうので、そういうことも想定すると非常に難しいです。ある程度のところで、線を引いた方が良くと思いますが、部活動をやるために先生になったという人もいますので、難しい問題です。

委員 部活動をやりたい先生が、職場からバッシングされないような環境にしていきたいです。

教育長 その他に質問等よろしいでしょうか。(なし)では、続きまして報告(6)「教育委員会後援申請について」説明をお願いします。

生涯学習課長(資料第7号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、続きまして報告(7)「教育委員会への寄附・寄贈について」説明をお願いします。

学校教育課長(資料第8号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 グローブはすでに配られていますか。

学校教育課長 はい。

委員 反応はどうでしたか。

学校支援室長 校長先生たちは喜んでいました。

教育長 中学校への貸出し、そしてなるべく使っていただくようお願いしました。

委員 子どもたちの様子を知りたいです。

教育長 反応を確認します。

教育長 その他に質問等よろしいでしょうか。(なし)報告は以上となりますので、その他に移ります。その他(1)「令和5年度小中学校卒業式の日程について」説明をお願いします。

学校教育課長(その他資料①に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、次回の教育委員会の日程についてお願いします。

学校教育課長(2月15日(木)午後2時00分から2月定例教育委員会を、3月6日(水)午前11時00分から3月臨時教育委員会を、3月19日(火)午前11時00分から3月定例教育委員会を開催する旨提出。)

教育長 その他にございますか。

図書館長 南部公民館図書室のリニューアルオープンが1月19日になります。南部公民館のリニューアルに合わせて、南部の蔵書を増やしたいという目的で、クラウドファンディングを行いました。今年2回目で、結果は84名の方から、126万3千円集まりました。目標が200万円でしたので、63%でした。たくさんの方にご協力をいただきまして、本当に感謝いたします。クラウドファンディングで購入した本については、本の表紙に「クラウドファンディングで購入しました」というシールを貼ってあります。

図書館の休館に合わせて行われました福袋についてです。本の詰め合わせを、WEB予約ができない方と、普段読んでいないような本をぜひ読んでほしいという思いから始めました。現在まで、511袋のご利用がありました。1袋が3冊詰めになっています。

学習室も休館に合わせて使えなくなりましたので、市役所のホールを利用させていただいています。こちらの利用は、土日と冬休み限定でしたが、1番多かった日が17名、1番少なかった日が1名で、平均すると8名の方にご利用いただいております。

教育長 その他にございますか。(なし)

閉会宣言 午前11時14分、1月定例教育委員会の閉会を宣言。